

20~30代女性のスマホ予約事情

IkunoPR(株) PRプロデューサー 笹木 郁乃氏



PROFILE

2年間で500名の起業家にPR指導。日本TV系列「中京TV」と「女性が輝くアカデミー」プロデュース。国連行事である「国際女性デー」実行委員、エーウィーク「1億から120億JPR担当、「経済界」との「女性アカデミー企画」など、女性視点を活かしたPRサポート・プロデュースを展開。http://ikuno-pr.jp/

レジャーの検索・予約は 「スマホ派」が中心

20~30代女性で、レジャーや飲食施設を検索したり予約するのは、もちろん「スマホ派」が中心です。

企業のHPも、若い世代向けのHPほど、スマホ閲覧が7~8割を占めるということもよく聞く話です。

さて、そんな彼女たち（私も含めですが……）は、スマホでサクッと調べることに、快適さを覚えています。

つまり、パソコン上でHPとにらめっこして、じっくりとレジャー・飲食施設をリサーチするといったスタイルは、明らかに減ってきてているのです。

お店を予約するまでに、平均3分。5分はかけないのではないでしょうか。

さて、そんな彼女たちに、「なぜそのお店を選んだの!?」と聞くと、意外な答えがよく返ってきます。

「直感です！」

と、自信満々に言うのです。

最低限の価格や場所情報は押されたうえで、あとは「直感」に頼ることもある彼女たち。

そんな彼女たちの直感に訴えるHPをつくり、運営するためには、何がポイントになるのでしょうか。

女性の「直感」に訴える HPづくりとは

では、どうやって彼女たちの「直感」に訴えるのか。スマホ世代に訴求するHP

づくりのポイントについて説明します。

- ① HPがスマホ対応になっている
- ② “インスタ映え”する写真をふんだんに使ったHPになっている
- ③ トップページ上に写真が複数枚あり、瞬時に利用した時のイメージがつかめる上記3つが、必ず押さえておきたいポイントです。

まず、①ですが、HPをつくる際は、パソコン表示ありきで制作する企業や施設がまだまだ少なくないようです。

パソコン表示のデザイン構成が確定したあとに、それをスマホ表示対応としてアレンジするわけです。

そうなると、一応、スマホでも見れるものの、スマホから見た時に魅力的なデザインでないことが本当に多いのです。情報検索がパソコンからスマホへと移行しているわけですから、情報発信もそれに合わせて対応しなければなりません。

また、スマホ世代は、クリックして別のページにジャンプすることを、最小限にしたいと思っています。

できるだけ、下にスクロールですませたい。そのため、パソコン表示とは異なる、スマホ用に縦に長いHPを考えておく必要があります。

一方、②、③は、女性の「直感」に訴えるための重要なポイントです。

若い女性にいま、ひそかに人気で、私の周りの女性たちも、何人も宿泊しているホテルのHPがお見事ですので、ご紹介させていただきます。

箱根温泉「はなおり」
<https://hanaori.jp/ashinoko/>

よかったら、パソコン表示と、スマート表示のHPを見比べてください。

スマホ表示した時は、お客様が投稿したインスタ写真がたくさんトップページ上に表示できるようになっています。

また、トップページにインスタ映えする写真が何枚もあり、気分が高揚しますよね。

私の友人も、ホテル指定のハッシュタグをつけ、インスタに写真を投稿したら、このHPトップに掲載してもらったようで、とても喜んでいました。

そして、うれしいから「HPに紹介されました！」と、また投稿し拡散していました。

写真こそが女性を動かす武器です。文字情報よりも、写真にこそ、コストと手間をかけるべきです。

その際に留意すべきなのが「女性客の直感に訴える」ということであり、それをわかりやすく言うと、「写真から、利用した際の具体的なイメージがつかめ、それがワクワクするか」ということになるのです。

現在のカラオケ施設は、コンセプトルームなど、魅力的なルームが多く登場しています。素敵な空間デザインや最新のカラオケ機器を導入したのなら、まさに素敵な写真を撮影し、それを大きくHPなどに表示することが重要です。

ネット社会で、1日にたくさんの情報を目にする今、文字情報から、写真情報の重要度が、今後ますます上がっていくのではないかでしょうか。